※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語特訓	1	２～４	自主製作教材・プリント等

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

始業前の１７時半～１７時５５分までの時間で行われる、０時間目授業です。大学や検定試験の過去問に取り組んだりします。授業とは別でさらに英語を学習したい人はぜひ受講してください。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２～４学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・はっきりと話されれば、身近な話題についてその文意を理解することができる。 ・日常的な挨拶ができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 ・決まった表現でゆっくりはっきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、内容を理解することができる。 ・趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。	・簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近な話題などの内容を理解することができる。	・日常的な挨拶ができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 ・天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。	・自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。 ・簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）を短文ですることができる。	・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。

３ 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	日常的な話題や社会的な話題について、使用される語句や文、情報などにおいて、一定の支援を活用すれば必要な情報や書き手の意図を把握することが出来るようになる。	日常的、社会的な話題について、既習の語句や表現を用いながら、情報や自らの考え、気持ちなどを論理的に書いたり話したりすることが出来る。	英語の背景にある文化や民族に対する理解を深め、相手の気持ちを配慮しながら主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	・新しい文法を学ぶ ・過去問等を解く	読む	a：簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近な話題などの内容を理解することができる。	ワークシート 考査
		聞く	a：はっきりと話されれば、身近な話題についてその文意を理解することができる。 b：日常的な挨拶ができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 c：相手の言うことを注意深く、諦めずに聞き取ろうとしている。	授業観察 ワークシート
		話す (やり取り)	b：日常的な挨拶ができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 c：日常的な挨拶ができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをしようとしている。	授業観察
	中間考査			
	学んだ文法を活用する	読む	a：簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近な話題などの内容を理解することができる。 b：簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。	ワークシート 考査
		書く	a：簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。 b：簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。 c：学んだ表現を用いて複数の文を書こうとしている。	ワークシート 考査
		話す (発表)	b：簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）を短文ですることができる。 c：簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）を短文でしようとしている。	授業観察
	期末考査			
後期	新しい文法を学ぶ	読む	a：簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近な話題などの内容を理解することができる。	ワークシート 考査
		聞く	a：趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。	授業観察 ワークシート
		話す (やり取り)	b：天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。 c：天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりしようとしている。	授業観察

※令和４年度以降入学生用

	中間考査			
	学んだ文法を活用する	読む	a: 簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近な話題などの内容を理解することができる。 b: 簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。	ワークシート考査
		書く	a: 簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。 b: 簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。 c: 学んだ表現を用いて複数の文を書こうとしている。	ワークシート考査
		話す（発表）	b: 自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。 c: 自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明しようとしている	授業観察
	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度